

## 教育改善部門 事業報告

### 1. はじめに

教育改善部門は、全学教務委員会の評価・FD教育改善専門部会の下で、「学生による授業評価」および「長崎大学FD・SD」の事業を行っている。以下、その実施概要を報告する。

### 2. 平成27年度『学生による授業評価』実施状況

#### 2.1 概要

長崎大学では、平成14年度から全授業科目を対象として『学生による授業評価』を実施している。本学では、『学生による授業評価』を総括的に捉えるために表1のような全学共通項目を設けている。ただし、表1における設問8は学生の授業外学習時間の把握のために、平成27年度後期より追加された。

この全学共通項目に加え、教養教育（1～2年次生）においては科目別追加項目を、専門教育においては部局別追加項目をカテゴリー（評価項目の集まり）として設定している。

さらに担当教員は、授業評価毎に個別の追加項目を加えることもできるようになっている。なお、本紀要の執筆時において、平成28年度後期の授業評価を実施中であるため、平成27年度の授業評価について報告するものとする。

#### 2.2 受付状況および実施状況

平成27年度の受付状況および実施状況は表2に示す通りである。なお、平成23年度より、全科目ではなく各教員の希望科目（年1科目以上）について授業評価を行っている。

表2. 平成27年度の受付状況および実施状況

受付件数	1,657件
実施件数	1,497件
実施率(%)	90.3%

表1. 全学共通設問項目および回答選択肢

設問		学生の選択肢
設問1	シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。	① そう思う ② どちらかといえばそう思う ③ どちらともいえない ④ どちらかといえばそう思わない ⑤ そう思わない
設問2	授業は目的達成のため計画的に進められた。	
設問3	授業担当者の教え方は適切であった。	
設問4	授業担当者は、学生が質問や相談しやすい環境・雰囲気作りを行った。	
設問5	自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。	
設問6	自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。	
設問7	総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。	
設問8	この科目で授業以外の週平均学習時間は(予復習やレポート、授業関連の読書、調べ物、試験勉強等を含む)	
		①ほぼ0、②約1時間、③約2時間、④約3時間、⑤約4時間以上

#### 2.3 参考資料

- [1] 長崎大学公式ページ『大学点検・評価』→『学生による授業評価』：  
[http://www.nagasaki-u.ac.jp/plan/pln\\_jug\\_hyoka.html](http://www.nagasaki-u.ac.jp/plan/pln_jug_hyoka.html)

### 3. 平成28年に実施した長崎大学FD・SD

当部門は、教務委員会の評価・FD教育改善専門部会と協力しながら「長崎大学FD・SD」の企画・運営を行っている。ここでは、平成28年1月から同年12月にかけて全教職員または全教員を対象に実施された集合研修について報告する。

#### 3.1 FD・SD スプリングワークショップ

##### (1)趣旨

FD・SD スプリングワークショップは、本学の教職員が、授業改善や学生支援等において十分に持ち味を生かせるようになることを目指している。ニーズの高い内容を精選し、実践にすぐにつながる学習形態を取り入れており、次年度からの教育改善に効果が期待される。

##### (2)対象

全教職員（非常勤を含む）

##### (3)日時

平成28年2月3日（月）～3月22日（水）

##### (4)場所

長崎大学（文教・坂本・片淵キャンパス）

##### (5)参加数

257名（延べ数）

##### (6)プログラム

時間	内容	講師
2月8日(月)		
15:45~ 17:00	「基礎力テスト」 報告会-初年次と 3年次の比較から-	松村直樹氏 (株式会社リアセック)
2月3日(水)、4日(木)、8日(月)、 10日(水)、3月1日(火)など計11回		
	初年次セミナーに 向けて-授業設計ガイ ダンス-	若菜啓孝 教授、 山地弘起 教授、 北村史 助教、 岡田大輔 助教 (大学教育イノベ ーションセンター)
2月29日(月)、3月1日(火)、3日(木)、 4日(金)、11日(金)、16日(水)など計6回		
	モジュールⅡ前期 科目の実施に向け て-「考える力」を育 てるアクティブ・ラー ニング-	山地弘起 教授、 若菜啓孝 教授、 北村史 助教、 岡田大輔 助教 (大学教育イノベ ーションセンター)

3月8日(火)		
10:15~ 12:00	モジュール・フォー ラム-全学モジュ ール科目の総括-	松坂誠應 理事 (教学担当)、 川越明日香 助教 (大学教育イノベ ーションセンター)
3月8日(火)		
13:00~ 15:00	アクティブ・ラーニン グ事例報告-全学モ ジュール後期科目 より-	奥田阿子 助教 (言語教育研究セ ンター) 久保隆 助教、 嶋野武志 教授 (産学官連携戦略 本部) 宮下茂 教授 (教育学部)
3月22日(火)		
16:00~ 17:00	プレゼンテーション・ クリニック-より効果 的な資料作りのため に-	北村史 助教、 岡田大輔 助教 (大学教育イノベ ーションセンター)

#### 3.2 新任教職員ガイダンス「ウェルカムFD・SD」

##### (1)趣旨

新任の教職員を対象に、長崎大学で職務を開始するにあたってのガイダンスを、例年同様2日間にわたって行った。1日目は、長崎大学が目指す教育、研究等に関する基本的知識を得ることが目指された。2日目は、歴史的遺構を巡るキャンパスツアー「長崎大学歴史散歩」を行い、長崎大学にかかわる歴史を知って本学への帰属意識を深めることが目指された。

##### (2)対象

平成27年4月以降に長崎大学に新たに赴任した教職員

##### 第1日 第1部「長崎大学が目指すもの」

##### (3)日時

平成28年4月4日（月）13:00～15:00

##### (4)場所

教養教育講義棟2階 A-24 講義室

##### (5)参加数

45名

##### (6)プログラム

時間	内容	講師
13:00~ 13:15	ウォームアップ	
13:15~ 13:20	開会の挨拶	松坂誠應 理事 (教学担当)

13:20~14:10	「新任教職員へのメッセージ～長崎大学の課題と展望～」	片峰茂 学長
14:10~14:20	「ガバナンス体制及び情報管理について」	河野茂 理事 (総務担当)
14:20~14:30	長崎大学における研究・仕事と生活の両立支援の紹介	伊東昌子 副学長 (ダイバーシティ推進担当)
14:30~14:40	長崎大学の障がい学生支援	ピーター・バーニック 助教(障がい学生支援室)
14:40~14:50	質疑応答	
14:50~14:55	閉会の挨拶と翌日の案内	連清吉 教授(多文化社会学部)、川越明日香 助教(大学教育イノベーションセンター)

**第2日目 第II部「長崎大学歴史散歩－150年をふりかえる」**

(3)日時

平成28年4月5日(火) 13:00～17:15

(4)場所

長崎大学(文教・坂本・片淵キャンパス)

(5)参加数

36名

(6)プログラム

時間	内容	講師
13:00~13:05	開会の挨拶	松坂誠應 理事 (教学担当)
<b>文教キャンパス歴史散歩</b>		
13:15~14:15	三菱長崎兵器製作所の碑	松坂誠應 理事 (教学担当)、
	長崎師範学校原爆慰霊碑	
	中部講堂	
	「若人」の像	川越明日香 助教 (大学教育イノベーションセンター)
	環境科学部正門側(旧教養部建物)	
	教養教育棟 A-12 教室:アクティブ・ラーニング仕様の教室	
	下村脩名誉博士顕彰記念館(薬学部)	
お薬の歴史資料館(薬学部)	岸川直哉 准教授 (医歯薬学総合研究科)	

休憩・バス移動		
坂本キャンパス歴史散歩		
14:30~15:35	近代医学史料展示室(附属図書館医学分館)	志波原智美 主査 (学術情報部)
	熱帯医学ミュージアム(医学ミュージアム)	堀尾政博 教授 (熱帯医学研究所)
	原爆医学資料展示室(医学ミュージアム)	橋本富士子 資料調査室員(原爆後障害医療研究所)
休憩・バス移動		
片淵キャンパス歴史散歩		
16:05~17:10	拱橋(こまねきばし)	藤田渉 教授 (経済学部)
	長崎高商門標	
	瓊林会館	
	赤レンガ倉庫	深浦厚之 教授 (経済学部)
	特別講演:「高商100年と武藤文庫」	
武藤文庫展示室(附属図書館経済学部分館)	宮脇英俊 主査 (学術情報部)	
17:10~17:15	閉会の挨拶	川越明日香 (大学教育イノベーションセンター)

**3.3 教育革新シンポジウム「クォーター制による教育改善」**

(1)趣旨

本シンポジウムでは、大学教育におけるクォーター制導入の効果などについて、大阪大学高等教育・入試研究開発センターのセンター長であられる、川嶋太津夫氏を招き、講演いただくとともに、他大学の事例報告を通して、本学におけるクォーター制導入の参考とした。

(2)対象

全教職員

(3)日時

平成28年8月24日(水) 13:00～16:15

(4)場所

文教スカイホール(グローバル教育・学生支援棟4階)

(5)学内の参加数

67名

(6)プログラム

【第1部】

時間	内容	講師
13:10~ 14:10	基調講演: 「学事暦改革と教育改善」	川嶋太津夫 氏 大阪大学 高等教育・入試研究開発センター長

【第2部】

時間	内容	講師
14:30~ 14:50	「広島大学のクォーター制導入状況」	坂越正樹 氏 広島大学 大学院教育学研究科教授(前教育担当理事・副学長)
15:00~ 15:20	「岡山大学におけるクォーター制等の導入・実施状況」	佐々木健二 氏 岡山大学 全学教育・学生支援機構副機構長
15:30~ 15:50	「千葉大学の教育改革と6ターム制」	小澤弘明 氏 千葉大学 副学長(教育改革)、国際教養学部長、全学教育センター長

3.4 FD・SD サマーワークショップ

(1)趣旨

FD・SD サマーワークショップは、本学での教養教育や学生支援等における課題を共有し、後期からの教育改善にすぐに役立てられるよう、内容を精選して実施する集中研修である。日頃の実践を振り返り、より充実した大学教育につなげていくために、例年広く参加を呼びかけている。

(2)対象

全教職員（非常勤を含む）

(3)日時

平成 28 年 8 月 29 日（月）～9 月 21 日（水）

(4)場所

事務局第 5 会議室（教育学部 2 階）

(5)参加数

195 名（延べ数）

(6)プログラム

時間	内容	講師
9 月 12 日、14 日、20 日、21 日		
	①学生の創造的思考を促す授業を考える	北村史 助教、川越明日香 助教、若菜啓孝 教授(大学教育イノベーションセンター)
8 月 29 日(月)		
10:30~ 12:00	②組織的なアクティブ・ラーニングの効果について考える	川越明日香 助教(大学教育イノベーションセンター)、森朋子 教授(関西大学)、本田周二 専任講師(大妻女子大学)
8 月 29 日(月)		
15:00~ 17:00	③学生とともに進める教育改善－大学教育におけるよい授業とは何か－	「学生による教育改善のための協議会」メンバー、評価・FD 教育改善専門部会委員
8 月 30 日(火)		
10:30~ 12:00	④授業設計入門	川越明日香 助教、北村史 助教(大学教育イノベーションセンター)
8 月 30 日(火)		
13:00~ 14:30	⑤長大生の学習行動から考える教育改善－学生調査結果報告－	中島ゆり 准教授(大学教育イノベーションセンター)
8 月 31 日(水)		
10:30~ 12:00	⑥簡単に導入できるアクティブ・ラーニング－問いを変える－と授業が変わる－	北村史 助教、若菜啓孝 教授(大学教育イノベーションセンター)
8 月 31 日(水)		
13:00~ 14:30	⑦障がい・不当な差別的取扱いの禁止・合理的配慮について考える	ピーター・バーニック 助教(障がい学生支援室)
9 月 1 日(木)		
13:00~ 14:30	⑧共感を得る話し方のコツ	矢野香 助教(キャリア支援センター)

9月2日(金)		
10:30~ 12:00	⑨授業で使える動画コンテンツ作成クリニック	北村史 助教、若菜啓孝 教授(大学教育イノベーションセンター)

### 3.5 モジュール科目のシラバス作成支援

#### (1)趣旨

第4クールの全学モジュールから「考える力」の向上をめざしたアクティブ・ラーニングの充実が求められている。また、COC+採択に伴い、地域課題を取り入れた科目を各テーマ内に1科目設定することにもなっている。さらに、平成29年度からは学歴がクォーター制に完全移行するなど次年度の全学モジュール科目における授業設計・シラバス作成は従来とは異なる場合もある。授業の到達目標、授業方法（授業の形式、事前・事後の学習内容）、アクティブ・ラーニングレベル、成績評価の方法・基準等の明示などシラバス作成支援を行った。

#### (2)対象

全学モジュール科目担当者

#### (3)日時

平成28年11月10日(木) 16:15~17:45  
11月15日(火) 16:15~17:45

#### (4)場所

ICT基盤センターセミナールーム

#### (5)講師

北村 史 助教、川越明日香 助教、若菜啓孝 教授（大学教育イノベーションセンター）

#### (6)参加数

15名（延べ数）

#### (7)付記

当シラバス作成支援は、要点をまとめた動画コンテンツも作成した。

### 3.6 その他

上記のFD以外に、平成28年2月には経済学部における部局FDの実施、3月には、医学科のために e-learning 型FDの実施を行った。このように、「長崎大学FD・SD」の企画・運営においては、各キャンパス、部局に出向いた研修

および e-learning を活用した講座なども徐々に増えてきている。これは、本センターが開催する集合型のFDにおいて、①日時の関係で出席できない②自分の部局に合うような事例がない、などの理由で参加できない教員に対応したものとなっている。このように、部局の事情に合わせたFD研修および教員個別の実情に合わせた「授業コンサルティング」など、より効果的で効率化も図った事業展開も行われ、さらに、**図1**、**図2**のようなWebシステムを構築し活用している。

図1

図2

この Web システムは、FD参加申し込み、フィードバックに利用され、FD 運営の効率化を図っている。

また、学生も関与した事業としては、

①学長と「学生による教育改善のための協議会」

代表者との意見交換会

平成 28 年 3 月 23 日（水） 14 : 00 -16 : 00

②TA 研修

前期) 平成 28 年 3 月 30 日（月）、4 月 5 日（火）

後期) 平成 28 年 9 月 26 日（月）

の実施があげられる。

#### 4. おわりに

本稿では、大学教育イノベーションセンターの教育改善部門が関わる 2 つの事業「学生による授業評価」と「長崎大学 FD・SD」について、平成 28 年の実施概要を報告した。